

「地域課題分野」（平成30年度採択）

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
流木災害対策に資する流木資源化・利用システム開発	中央大学 松下 潤	A
<研究概要> 北上川水系直轄6ダムを対象として、亜臨界水解繊技術をコアとした地域における流木の資源化・利用システムを開発した。肥育牛飼養試験およびフルボ酸施用による栽培試験を行い流木資源の有用性を実証し、地域ニーズや価格競争性を検討した。また、最近20年間の流出流木量を解析し、良質材と不良材に区分し需給バランスの検討を行った結果、流木を農林畜産資源として活用するための出口確保の見通しを大略得ることができた。		
<事後評価指摘事項> A評価のためコメントなし		

※評価基準

A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。

B：一定の研究成果があった。

C：研究成果があったとはいえない。